

社内報

第293号

2025.3.20発行



本 社	TEL 072-967-6671 FAX 072-967-7532
東大阪物流センター	TEL 072-967-7361 FAX 072-967-7152
泉大津物流センター	TEL 0725-23-7791 FAX 0725-23-7792
桶 川 営 業 所	TEL 048-786-5831 FAX 048-786-5832
ロ ジ ス 東 京	TEL 048-598-5190 FAX 048-593-2120
埼玉物流センター	TEL 048-984-6131 FAX 048-984-6132
行田物流センター	TEL 048-577-4131 FAX 048-577-4132
伊賀物流センター	TEL 0595-45-9511 FAX 0595-45-9512
福岡物流センター	TEL 092-957-4011 FAX 092-957-4012

日頃より各種業務にご尽力いただき、誠にありがとうございます。寒さも和らぎ、春の訪れを感じる季節となりましたが、朝晩はまだ冷え込む日もございます。引き続き体調管理には十分ご注意ください。

3月は、新年度に向けた準備が本格化する時期であり、また繁忙期に向けた対応にも力を入れていく必要があります。業務が増える中でも、「安全第一」の意識を忘れず、慎重な運転と確実な車両点検を徹底してまいりましょう。また、春は気温の変化が大きく、花粉症などで体調を崩しやすい時期でもあります。皆さまご自身やご家族の健康管理にも十分お気をつけください。

引き続き、安全かつ円滑に業務を進められるよう、皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

健康経営優良法人2024健康課題 メインテーマ 社内喫煙率の低下

	人数	喫煙者数	非喫煙者数	喫煙率
本社	10	2	8	20%
システム管理課	2	0	2	0%
伊賀物流センター	14	5	9	36%
桶川営業所	1	0	1	0%
埼玉物流センター	9	6	3	67%
泉大津物流センター	13	4	9	31%
行田物流センター	9	2	5	22%
福岡物流センター	4	3	1	75%
東大阪物流センター	20	11	9	55%
ロジス東京	1	1	0	100%
合計	83	34	47	41%
目標値	2025年3月末 喫煙率 41%以下			

喫煙者数に増減のあった拠点は本社までおしらせください。

拠点別無事故日数累計 (2025.2.20付)

福岡	泉大津	行田	東大阪
1,500日	1,099日	518日	224日
埼玉	伊賀		
922日	224日		

本社よりお知らせ

自動車・二輪で通勤される方へのお知らせ

昨年7月に実施した車検証・自賠責・任意保険のチェックについて、当時ご提出いただいた書類に記載されている有効期限が、その後の経過により切れている方がいらっしゃると思います。再提出が必要な方についてはセンター長へお知らせしておりますので、該当する方は速やかに最新の書類を再提出していただきますようお願いいたします。

また、今後は車検の実施や保険の更新後、速やかに書類を提出していただきますよう、ご協力をお願いいたします。

春の全国交通安全運動へのお知らせ

2025年度の春の全国交通安全運動は、4月6日（日）から4月15日（火）までの10日間実施されます。

普段から徹底してもらっていると思いますが、この期間中は交通ルールの遵守と安全運転の徹底がより一層求められます。特に、歩行者優先の運転、スピードの抑制、シートベルト・ヘルメットの着用確認などを改めて意識し、事故防止に努めましょう。

ワールド運輸株式会社 SDGs への取り組み

- 8 働きがいも経済成長も

8番目の「働きがいも経済成長も」では、創業50年を超えて更なる成長を目指す。提案型総合物流企業として継続成長しようとしています。働く全ての社員さんの、働き甲斐、自己成長、就業と収入の安定を図るべく、経営課題の解決を図ります。
- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう

9番目の「産業と技術革新の基盤をつくろう」では、必要なモノを必要とする人・所へ適正に安全に責任をもって笑顔で真心こめてお届けする事で、日本経済の物流インフラ基盤を担っています。
- 11 持続可能な人々の住み続けられるまちづくりを

11番目の「住み続けられるまちづくりを」では、都市を包括的、安全、強く持続可能にするために、物流業者としての責任を自覚し、11番目と重複しますが社会のインフラにおける重要なポジションで企業活動を継続して行っています。
- 12 持続可能な消費と生産

12番目の「つくる責任つかう責任」では持続可能な消費と生産のパターンを確保する為に、将来の経済・環境・社会のコストを低下させて経済的競争力をたかめるべく、物流業者としての責任を自覚し、11番目と重複しますが社会のインフラにおける重要なポジションで企業活動を継続して行っています。
- 13 気候変動に具体的な対策を

13番目の「気候変動に具体的な対策を」では燃料消費率の効率化や車輛・設備のメンテナンスをしっかりと行う事で、モノを大切に扱い、長寿命化に取り組む事でCO2削減に取り組んでいます。
- 17 パートナリーシップで目標を達成しよう

17番目の「パートナーシップで目標を達成しよう」では、取引先様との省エネや生産効率向上に際しての協働はもちろん、社員の皆さんとの意識を共有し、目標実現に向けてこれに取り組んでいます。